

## 第 25 回

# 長次郎の赤茶碗と黒茶碗の意味を問う

## — 千利休の侘茶の真髓

利休が長次郎に造らせた茶碗は、赤と黒。なぜ利休は、赤と黒にこだわったのか。赤茶碗と黒茶碗の意味が解き明かされる時、利休の侘茶の真髓を垣間見ることができる。市民講座主講師の高橋敏夫氏が、これまで誰も気づかなかったことを、今初めて語る。



講 師：高橋敏夫

日 時：2018 年 3 月 7 日(水) 午前 10 時～12 時

会 場：ぽぽら春日部(ふれあいキューブ市民活動センター 4 階、会議室 1)

定 員：30 名

(主催者にお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。)

会 費：1000 円 抹茶とお菓子付き

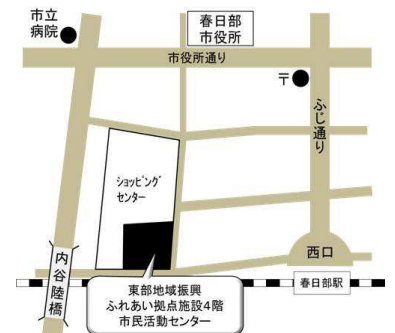
主 催：ボーイスカウト春日部 10 団

春日部市中央 1-51-7(春日部福音自由教会内)

担当 山田豊(Tel.048-754-7683)

電話：048-735-4765(火～土、午前 9 時～午後 5 時) FAX：048-735-4726

Eメール：info@kefc.jp



講師

高橋敏夫(たかはしとしお)

1940 年 9 月 15 日、長野県、安曇野市(旧穂高町)生まれ。

1969 年春日部福音自由教会牧師に就任。

幼児、青少年の育成のために、「めぐみ幼稚園」「ボーイスカウト春日部 10 団」を設立、青年会議所、PTA で活動。高山右近の研究者として、聖書と茶の湯を中心とした文化講演やセミナーを、神学校、大学、カトリック教会などで行っている。

表千家教授、在主人庵主、

ボーイスカウト春日部 10 団団委員長

著書：「茶の湯の心で聖書を読めば」

「高山右近を追い」(いのちのことば社)